

中高生のボランティアについて

朝長 英美議員

Q 中高生が自から行うボランティア活動を支援する体制はどうなっているか。また、職員採用に当たって学力だけの裁定だけではなく青年海外協力隊などの経験者や、あらゆるボランティア活動の経験者など、タフでうたれ強く社会への奉仕の気持ちの強い若者の採用を考えてもらいたい。また、社会貢献活動を多に行なわせる企画を考えているか。

A 各学校でとりたてて計画しているとは聞いていないが、小中学生においてはボランティアの価値観、精神などを十分に指導し、しっかりと教えることにより、ボランティア活動に結びつくと思っている。ボランティア活動などの社会貢献に対する高い意識も、市の職員として極めて重要。採用の際の判断要因の一つとして、十分考慮したい。

小中学校の防災教育について

田中 守議員

Q 「想定を信じるな」「ベストを尽くせ」「率先避難者たれ」この三原則による防災教育の

実践で休学中の児童を除く全小中学生が助かった「釜石の奇跡」と言われる取り組み。当市での学校での防災に対する取り組みと感想は。又この教育を実のあるものにするには家庭や地域の防災力の強化が重要と考えるがその取り組みや問題点は。

A 防災教育の指導をされている片田教授の書物に「知識の防災教育に偏ってはいけない。津波の知識や恐怖を教えるのではなく、自分の命を守るために主体的であり、できる限りの最善を尽くすという姿勢を教えるそのことが最大の防災教育のスタートになる」とある。そういうことを踏まえながら現場で指導していきたい。



都市整備

水道料金の値上げについて

古閑森 秀幸議員

Q 水道料金の値上げを予定されている経緯について、また、水道の受益者であり、料金の負担者である市民に対する広報はどのような方法で実施されているか。

A 使用水量の伸び悩みにより、現在多額の累積欠損金及び企業債残高を抱えている。また、管路の更新を促進し、経営安定を図るためには現在の水道料金体系では極めて困難なことから、料金改定に向けて最終調整を行っている。広報については市報及びホームページ、町内会への配布物などを計画している。

市道の草払いについて

山口 弘宣議員

Q 周辺部の地域では市道の草刈りを振興会及び各種団体で請け負っておられる。ガソリンの単価も数年前と比べると1・5倍に値上がりしており高止まりしたまま値下がりしないことなどを考慮すると、メーカーいくらの契約単価について、2回目の草刈り単価を1回目と同等に引き上げることも考えるべきであると思うが、見解を問う。

A 作業単価の根拠については定かではないが、農家の方が農地管理と合わせて無報酬で道路清掃を行ってこられた活動を支援するために導入された制度だと認識している。雑草の繁殖状況を認識し、1回目と2回目の単価については考えていきたい。

池田〜沖田線バイパス機能確保と桜の植栽

川添 勝征議員

Q 池田〜沖田線の進捗状況、完成予定は何年か。沿線に大型店が出店し交通渋滞を引き起こすことは避けなければならぬ。供用開始前に大村市のまちづくりに沿った用途指定が急がれる。久原〜池田線と同じ用途指定をすべきと考える。合わせて「大村のシンボルロード」として、桜並木の延長を願う。市長の見解を問う。

A 小路口工区は、今年度の進捗率81%、26年度でほぼ完成、竹松工区は計画は28年度までだが、今後の事業費の割り当て状況で完成予定は変わってくる。沿線の土地利用は県と調整を図り、沿道型の用途地域見直しを検討したい。桜を沿道に植栽することは極めて大事。県に積極的に働きかけ要望していく。

災害対策特別区域、急傾斜地崩壊危険区域は

中瀬 昭隆議員

Q 県指定土砂災害特別警戒区域岩舟地区の急傾斜地崩壊危険区域指定はどうなっているか。現場確認は何時したか。万一